

IFSTTAR Versailles における日仏ワークショップの開催

2017年9月13日と14日の2日間に渡り、日仏ワークショップがフランス共和国ベルサイユにあるIFSTTAR研究施設において開催されました。

2016年7月に横浜で開催された第31回国際心理学会議(ICP)における研究者交流が発端となり、本学会の太田博雄会長とIFSTTARのDr. Viola Cavalloが発起人となり、IFSTTARと学会員からのご支援を受けてワークショップ開催に至りました。IFSTTAR Versailles 所長、中核となって準備と運営にあたってくださった数名のフランス研究者には、深く感謝申し上げます。

日本からは7名がワークショップに参加し、3名がポスター掲示を行いました。参加者数は、全体で30人前後であり、じっくりと意見交換をするのに心地よい規模であったように感じられました。日仏双方の参加者から、共通の関心や研究テーマについて興味深い意見交換を図ることができた、是非、相互の研究交流に発展させていきたい、など非常にポジティブな意見が多く出されました。

以下に、ワークショップ開催期間中のスナップショットを紹介いたします。

なお、学会から参加補助の交付を受けてワークショップに参加した5名からは、別途、報告書が提出されております。こちら併せてご一読いただきますようお願いいたします。

国際交流委員会

(文責：国際交流委員長 岡村和子)



ワークショップ初日
開始前のティータイム



ワークショップ初日
午前中の様子



お土産を受け取って
いただきました

IFSTTAR が研究する
各種シミュレータ
見学



ベルサイユ市内で
開催された夕食会





2日目のネットワーキングの様子



2日目の昼食会



太田会長と IFSTTAR Versailles 所長
Mr. Kovarik



建物正面での集合写真